

第56期

2010.4.1～2011.3.31

山一電機株式会社



株主のみなさまへ



経営理念

山一電機グループは、新しい価値の創造に革新的に取り組み、エレクトロニクス産業において、すぐれた品質のトータルパッケージサービスを提供することを通じて、お客様の価値創出に貢献します。

1 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

2 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

3 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

4 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

5 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

Contents

経営理念	1
ごあいさつ	2
当期の概況および次期見通し	3
セグメント情報/連結	4
トピックス	5
連結財務諸表（要約）	7
単体財務諸表（要約）	9
会社の概要・株式の状況	10





代表取締役社長
織田 俊司

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により被災された株主の皆様には心からお見舞い申し上げます。

当社は、1956年の創業以来、真空管用ソケットの開発販売に始まり、お客様のニーズにお応えし、コネクタやICソケットなど様々な製品を多くのお客様に提供してまいりました。

世界的な変化の激しい経営環境においては、迅速な対応が必要です。また、リーマンショックや震災などの想定にない大きなリスク事象への的確な対応が求められます。

このような環境下、当社は人材の育成、技術の深耕に努めることで、強い事業基盤を構築してまいります。その上で、変化への機敏な対応を行うことで、生き残り成長を果たしていく所存でございます。

なお、期末配当につきましては誠に遺憾ではありますが見送らせていただくことといたしました。しかしながら「キャッシュセーブ経営」、「経営形態改善」に尚一層取り組むことで安定的な利益が確保できる体制を確実なものとし、早期の復配を目指す所存でございます。

皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当期の概況および次期見通し

当期は、年度前半には新興国の需要増を背景とした輸出拡大や、政府の経済対策の効果により回復基調で推移しましたが、後半には経済対策の終了に加えて世界経済の減速や円高の影響を受けることになりました。3月11日に発生した東日本大震災の当社グループ当期決算への影響は軽微なものでしたが、先行きについては顧客の部品集約問題から非常に不透明な状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、エレクトロニクス市場に加え、急成長している太陽電池市場に新製品提案や販売活動を積極的に展開し、受注・売上の拡大に取り組んできました。また、フィリピンやドイツの海外工場を拡充する一方で、製造固定費や販売管理費等の経費削減に取り組んできました。

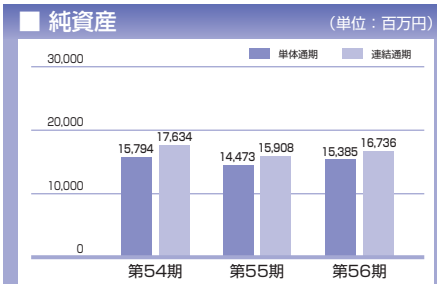
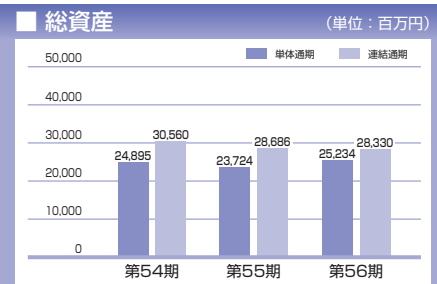
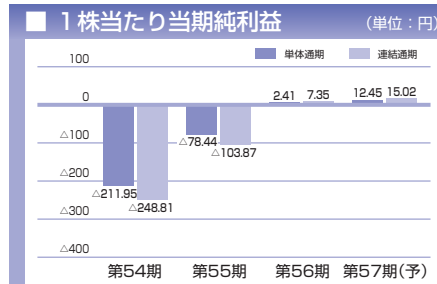
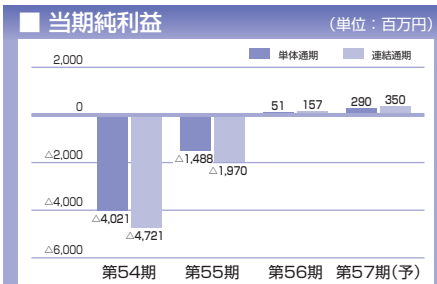
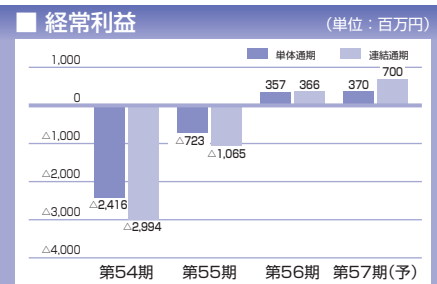
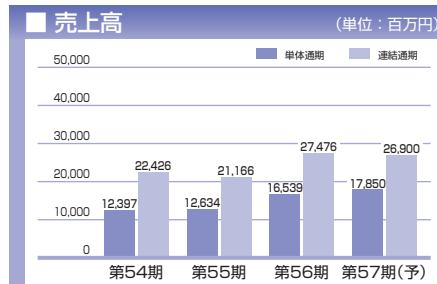
しかしながら、年度後半からの生産調整や設備投資抑制により主力の高付加価値製品の販売が落ち込み、営業利益

が伸び悩みました。

その結果、当期の連結売上高は、27,476百万円となりました。損益面においては、営業利益996百万円、経常利益366百万円、当期純利益157百万円となりました。

なお、売上高の内訳は、国内売上高11,490百万円、海外売上高15,986百万円となりました。

次期の見通しにつきましては、当社グループが関連する半導体・電子部品市場は、引き続き新興国を中心とする海外市場での需要拡大が期待されております。しかしながら、年度前半は、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断や電力供給不足の影響で、顧客の部品調達不足等からの生産調整により販売低迷が懸念されます。年度後半においては、復興需要の増加やサプライチェーンの立ち直りによる受注増が期待されます。



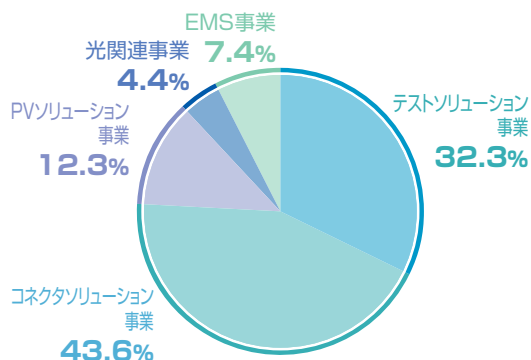
■ セグメント情報

報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品別の事業推進部を置き、各事業推進部は取り扱う製品について国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、光関連事業およびEMS事業については、中核グループ企業が中心となって取り扱う製品について国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

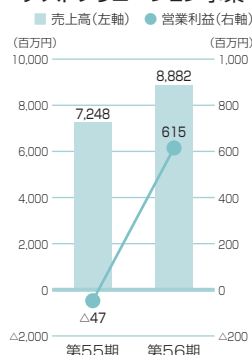
したがって、当社グループは、事業推進部およびグループ企業を基礎とした製品別のセグメントを下記の5つの報告セグメントとしております。なお、EMS事業は、液晶組立事業と基板実装事業の2つの事業セグメントを集約しております。



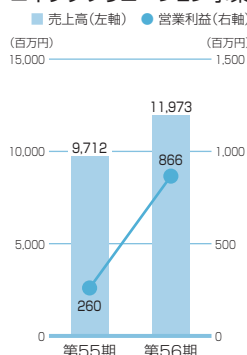
各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品・サービス
テストソリューション事業	バーンインソケット、テストソケット、プローブカード、半導体テスト関連サービス
コネクタソリューション事業	カードコネクタ、実装用ICソケット、高速伝送用コネクタ、その他各種コネクタ、YFLEX（高速伝送用ケーブル、実装基板）
PVソリューション事業	太陽電池モジュール用ジャンクションボックス、ケーブル&コネクタ
光関連事業	RGBフィルタ、蛍光ダイクロミックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源
EMS事業	液晶組立サービス、基板実装サービス

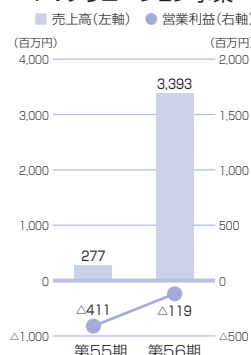
テストソリューション事業



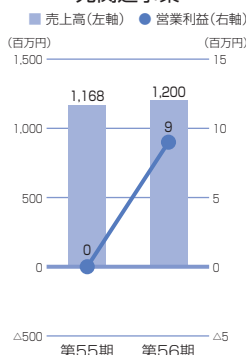
コネクタソリューション事業



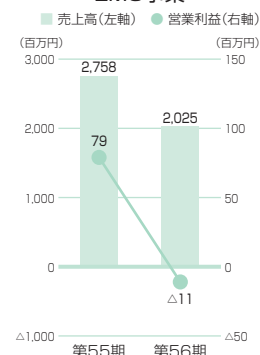
PVソリューション事業



光関連事業



EMS事業



テストソリューション事業

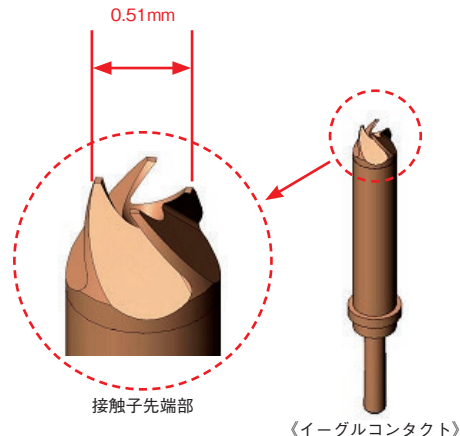
ユニークな独自形状

0.8mmピッチ用 高精度ワイピングスプリングプローブ接触子
「イーグルコンタクト」を開発

半導体テスト分野で培った接触子設計ノウハウと高精度加工技術の融合により、プローブ先端がワイピングをする独自のクラウン形状を施したスプリングプローブピン「イーグルコンタクト」を開発いたしました。

必要最小限のワイピングは低荷重による安定した接触信頼性と接触対象へのダメージの低減を可能にします。

既存のハウジングへの展開も可能で、多様化するパッケージテストのご要求へお応えいたします。



コネクタソリューション事業

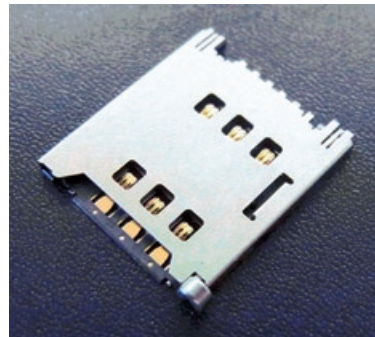
“いち早く、次世代カード対応製品をリリース”

新規格MicroSIMカードに対応した新挿抜方式（Pull Eject方式）の超低背コネクタを開発

これからの携帯電話・スマートフォン市場で、市場拡大が見込まれるmicroSIMカード（小型加入者カード）対応のコネクタを開発いたしました。

独自の新しいジェクト方式「金属プルレバー」の採用により既存SIMカード用トレイタイプコネクタでは満足できなかったコネクタ操作部を含めたりフロー半田付けに完全対応しました。同時に自動「金属プルレバー」収納機能を実現しています。

さらにカード誤挿入防止やグラウンド6箇所設置などの特徴を備えながら、小型低背化を実現いたしました。



FUSシリーズ
(幅 14.0mm 奥行 16.12mm 高さ 1.34mmMAX)

PVソリューション事業

2010年度は中国工場で量産を開始し販売数が飛躍的に伸張しました。2011年度はフィリピンにおいても生産を開始いたします。

製品は、安全規格 欧州および米州認証を取得し世界TOPメーカーへ納入しております。

屋外でも簡単にハーネス作業が可能なフィールドアッセンブリータイプのコネクタに加え、Junction boxの新製品もぞくぞく販売を開始いたします。



YSOL4



YSOL3

GLOBAL 10



Field assembly CONNECTOR
PVP/S0402 Series

Push



New Silicon JBox



Thin Film JBox

R&Dセンター

MEMS*プローブ技術の開発に成功

当社はNEDO*のイノベーション推進事業に採択されたプロジェクトにおいて、MEMSプローブ技術の開発実用化に成功しました。

MEMS技術と高精度プレス加工技術を融合適用することにより、非常に微小なサイズで自由度の高い先端形状を容易に形成することが可能となりました。

今後ますます微細高度化する先端デバイスの検査に活用されることが期待されます。

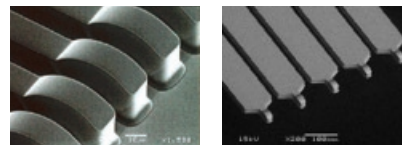
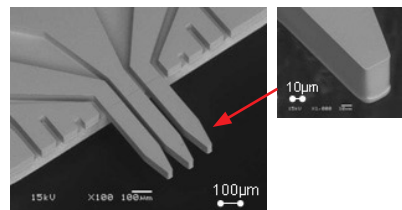
MEMS：（メムス、Micro Electro Mechanical Systems）

微小電気機械素子およびその創製技術

NEDO：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

（産業技術の国際競争力強化の活動を産学官連携で進めています）

MEMSプローブ先端形状例



先端プローブ幅10μm
（髪の毛の約1／10）以下が実現できます

連結財務諸表（要約）

■連結貸借対照表

【資産の部】

科 目	当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
流動資産	15,070	15,659
現金及び預金	6,741	4,072
受取手形及び売掛金	4,340	7,372
たな卸資産	3,077	3,410
その他	910	803
固定資産	13,259	13,027
有形固定資産	10,761	10,215
無形固定資産	163	222
投資その他の資産	2,334	2,589
資産合計	28,330	28,686

【負債、純資産の部】

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
流動負債	10,335	11,451
支払手形及び買掛金	1,887	4,191
短期借入金	6,673	5,380
その他	1,774	1,879
固定負債	1,258	1,326
長期借入金	625	1,040
その他	633	285
負債合計	11,594	12,778
株主資本	17,791	16,713
資本金	10,047	10,013
資本剰余金	9,580	10,971
利益剰余金	△ 1,832	△ 1,990
自己株式	△ 3	△ 2,281
その他の包括利益累計額	△ 1,075	△ 824
少数株主持分	19	19
純資産合計	16,736	15,908
負債純資産合計	28,330	28,686

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	27,476	21,166
売上原価	20,351	16,198
売上総利益	7,125	4,968
販売費及び一般管理費	6,128	5,522
営業利益	996	△ 554
営業外収益	206	220
営業外費用	836	731
経常利益	366	△ 1,065
特別利益	368	624
特別損失	149	1,785
税金等調整前当期純利益	585	△ 2,225
法人税、住民税及び事業税	145	178
法人税等調整額	282	△ 427
少数株主利益	△ 0	△ 6
当期純利益	157	△ 1,970

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,056	△ 314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,004	△ 911
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,769	△ 704
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 159	3
現金及び現金同等物の期首残高	4,066	5,993
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	6	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,736	4,066

■連結株主資本等変動計算書 当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成22年3月31日残高	10,013	10,971	△ 1,990	△ 2,281	16,713	△ 824	19	15,908
当期変動額								
新株の発行	33	33			66			66
当期純利益			157		157			157
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
自己株式の処分		△ 1,424		2,277	853			853
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△ 250	0	△ 250
当期変動額合計	33	△ 1,390	157	2,277	1,078	△ 250	0	828
平成23年3月31日残高	10,047	9,580	△ 1,832	△ 3	17,791	△ 1,075	19	16,736

単体財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当期 (平成23年3月31日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	11,465	10,007
現金及び預金	4,054	1,842
受取手形及び売掛金	3,048	3,880
たな卸資産	1,239	933
その他	3,122	3,350
固定資産	13,768	13,716
有形固定資産	7,309	7,592
無形固定資産	84	122
投資その他の資産	6,375	6,002
資産合計	25,234	23,724
【負債の部】		
流動負債	8,873	8,051
支払手形及び買掛金	1,278	1,373
短期借入金	6,764	5,699
その他	829	978
固定負債	976	1,199
長期借入金	545	1,039
その他	431	159
負債合計	9,849	9,250
【純資産の部】		
株主資本	15,189	14,216
資本金	10,047	10,013
資本剰余金	9,580	10,971
利益剰余金	△ 4,435	△ 4,487
自己株式	△ 3	△ 2,281
評価・換算差額等	196	256
純資産合計	15,385	14,473
負債純資産合計	25,234	23,724

損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当期 (自 平成22年4月 1 日 至 平成23年3月31日)	前期 (自 平成21年4月 1 日 至 平成22年3月31日)
売上高	16,539	12,634
売上原価	13,192	10,657
売上総利益	3,347	1,977
販売費及び一般管理費	2,889	2,824
営業利益	457	△ 846
営業外収益	631	623
営業外費用	731	499
経常利益	357	△ 723
特別利益	26	590
特別損失	107	1,510
税引前当期純利益	277	△ 1,643
法人税、住民税及び事業税	14	16
法人税等調整額	210	△ 172
当期純利益	51	△ 1,488

会社の概要 (平成23年3月31日現在)

商 号	山一電機株式会社
所 在 地	東京都大田区中馬込三丁目28番7号
設 立	昭和31年11月
資 本 金	100億4,706万円
従 業 員 数	451名 (連結 3,862名)
主な事業内容	1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. PVソリューション事業 4. 光関連事業 5. EMS事業

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

① 発行可能株式総数	60,000,000株
② 発行済株式総数	23,289,775株
③ 株主数	6,971名
④ 単元株式数	100株
⑤ 大株主	

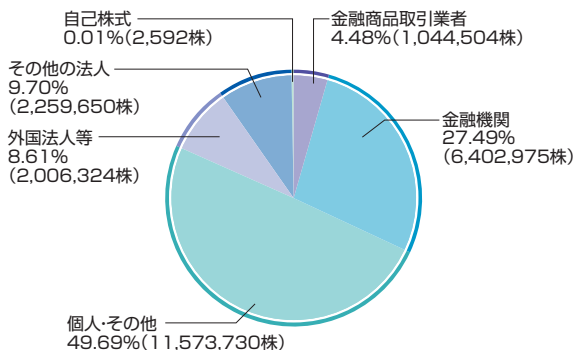
株 主 名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,908,600	12.49
S M K 株 式 会 社	839,200	3.60
日 本 証 券 金 融 株 式 会 社	733,100	3.15
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	619,300	2.66
山 一 電 機 従 業 員 持 株 会	578,688	2.49
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	526,275	2.26
株 式 会 社 み す ほ 銀 行	522,500	2.24
山 一 電 機 取 引 先 持 株 会	452,200	1.94
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント プリティッシュクライアント	436,900	1.88
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	381,300	1.64

(注) 持株比率は自己株式(2,592株)を控除して計算しております。

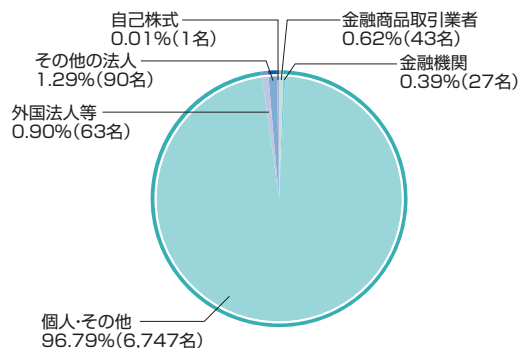
役員 (平成23年6月28日現在)

代表取締役社長	織 田 俊 司	常 勤 監 査 役	太 田 佳 孝
取 締 役	加 藤 勝 市	社 外 監 査 役	吉 澤 壽 美 雄
取 締 役	村 田 和 則	社 外 監 査 役	多 田 郁 夫
取 締 役	阿 部 俊 司		
取 締 役	鶴 家 紀 之		
取 締 役	渡 部 武 光		

所有者別株式数分布状況 (平成23年3月31日現在)



所有者別株主数分布状況 (平成23年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
同 連 絡 先	
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第1部：証券コード6941)
公 告 の 方 法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で
ご覧いただける
投資家情報

- ・IRカレンダー
- ・決算短信
- ・株主のみなさまへ
- ・有価証券報告書
- ・お問い合わせ

<http://www.yamaichi.co.jp/aboutus/ir/ir.shtml>

 山一電機株式会社

〒143-8515 東京都大田区中馬込三丁目28番7号
☎03-3778-6111 (代表) ☎03-3778-6171
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

